

議会だより

第1回定例議会

平成21年第1回西栗倉村議会定例会を3月12日に開会し、19日、26日の3日間審議され、人事案件4件、条例9件、予算20件、その他議案7件が原案どおり可決されました。

21年度施政方針

村政を担当させていただいた10年間の総評として、これから挑戦する「100年の森づくり」で村の変わらない生きざまや文化を守り、次の世代へ継続していくことと、日々生じる行政課題を確実に消化して、限りなく住民に身近な「住民に何が必要で何が不必要か」という視点を持てば、極めて厳しい財政状況の克服と市町村合併の大波を乗り切れると確信しています。

さて21年度予算の特徴ですが、道路特定財源の一般財源化、交付税の地域活性化対策の増額、臨時対策債の増額など、村の財政規模にとって歳入の大幅な増額になります。まず、一般会計では歳入歳出17億9500万円、対前年比2億8100万円（18%）の増額は普通交付税で7100万円、特別交付税は昨年から福祉事務所開設の特別交付税措置を当初計上して6600万円の増額で、交付税総額は1億3700万円の増になります。また、ふるさと再生、雇用特別交付金が県の補助金として



4500万円、減債基金から約1億繰り入れて、繰り上げ償還いたします。また、13年度に始まった臨時財政対策債は約7470万円、臨債の総起債残高が約5億5千万円になります。20年度補正、21年度予算の特徴は、景気対策、地域対策で国からの交付税及び交付金が増額されて財政規律が緩んだことが特徴で、国と地方の財政状況からすると長期的な視点ではないと判断しています。村では、これからも財政規律を守りながら集中と選択を繰り返して、ダイナミックに挑戦していきます。

特別会計で農排会計の約2400万円の増加は、繰り上げ償還に伴うもので、農排以外の特別会計は全体に減額会計になります。

100年の森づくりについて、木の村として平均樹齢48年になる5千ヘクタールにも及ぶ人工林の現状は、環境・経営の両面で極めて厳しい現状にあります。先達が今まで頑張ったすばらしい人工林を、環境に配慮した健全な森としてなんとか次の世代へ引き継ぐことが「100年の森づくり」の取

り組みです。人工林の現状と林家のモチベーションからすると極めて緊急度の高い問題で、すでに昨年の秋から林家への説明を繰り返して、方向の共有はできつつあります。

*森づくりを通じて、地域活性化を図る

- 地域雇用・地域内経済循環をつくる。
- 間伐資源を光り輝かせる6次産業を起こす。
- FSC・はがらしを通じて、差別化商品に挑戦する。
- 森の学校を通じて、木の文化や伝統や風土を発信して多面性を創造する。
- モデル住宅を通じて、身近な消費者との共存を高める。
- 小さな経済・小さな文化・小さな環境を、暮らしの中に復活する。

*森づくりの現場では、コスト意識と環境に配慮する

- 集団化と管理委託で効率を高め、農家に小さな追加所得を確保する。
- 実体を踏まえながら、製材、乾燥、機械化を進める。
- 優秀な山の番人とオペレーターを育てる。
- 結果として、搬出間伐1000ヘクタール、切り捨て間伐200ヘクタールを実現する。
- 実体の伴う現場第一主義に徹する。
- 住民が自ら参加する、暮らしの中に木と森づくりを考える、小さな力ネと「100年の森づくり」の循環を「上質な村づくり」とする。その結果、交流と経済が生まれる。
- 21年度予算は「100年の森づくり」に集中投資しています。

一般質問

村財政について

草刈議員

今後の村財政について、県の財政難や破綻寸前の町村が全国に数多くある。本村の財政状況はどの様でしょうか。

道上村長

15年にはすでに行革を進めており、交付税が激減しても縮小再生産の歩みを模索し成果を上げ、住民の満足度を維持しながら現在に至っております。11年度の交付税の総額が12億5千万円で20年度が約9億円からしますと、健全な経営が執行されていると確信しております。また、一般会計と特別会計を合わせた起債残高は、11年度末約48億円が、今年度末35億円の予定です。財政健全化法による財政4指標のうち、実質公債比率が19年度で19%やや超えていますけれども、中長期的には健全性が維持できると確信しております。現

状では、財政については問題なく当分頑張れると確信しております。

萩原総務企画課長

財政四指標の実質公債比率は、西粟倉村は3年間平均で19・5ポイントで、18%を超える市町村は健全化の計画をたてる県の指導がございませぬ。村の公債費適正化計画は、今後5年間で事業等に使用します起債額を約6億円と設定しております。これに従いまして、先ほど申し上げました19・5という数値が下がってまいります。予定では、再来年の決算からは18%を切ると予想しております。

草刈議員

どう細かく説明していただきましても、財政については村民の皆さんも色々心配されているとこではあります。村長さんには、当分じゃなしにずっと大丈夫だと言っただけじゃなく、そういうことでは少しは村民の皆さんも安心だと思えます。

施設の 存続について

草刈議員

公社施設を含め、存続を願う一人です。今後どの様な施策があるのかお伺いします。

道上村長

公社の経営環境は極めて厳しい環境にあります。昭和46年に国民宿舎あわくら荘を建設して以来、交流を基本とした地域振興に大きなエネルギーを割いて今日に至っております。総投資額は相当な額になります。新しい挑戦と老朽化との戦いになります。全施設のレジカウントで、20年度20万人を超えます。森づくりを中心とした、木の村としての多面性をつくる。一つひとつ資源は小さい村ですけれども、沢山の資源をリンクさせて田舎暮らしを多面的にプロデュースしていくことは地域振興でありますし、結果として経済行為・観光に繋がると確信してやみません。



草刈議員

野鳥苑、天岡公園にしても閉まった状態で、私にも解決策が浮かばないんですけど、いっぺん大きなプロジェクトをつくって検討して、研究しないといけないんじゃないかと気がしております。それと公社に関しては、引くばかりも得策ではないという感じがしております。

道上村長

私の夢でございますけれども、今ある施設の鉄筋コンクリートの

建物を全部木材に変えて、内部経済循環を図りながら都市に発信していくということも一つの手法だと思います。森づくりを通じて暮らしを考えて、その結果として交流が生まれて、これからのポイントが自然環境と水だと思っておりますので、その辺の面をしっかりと光輝かせると確信をしております。

草刈議員

旧影石小学校も森の学校で使うということ、良くなっていくなと感じがしております。色んな施設の使い方を、西栗倉にも本当に優れた人がおりますので、色々研究していただければと幸いかなと思っております。

道上村長

他所者、若者、馬鹿者という言葉がございませう。我々がずっと住んでいて、我々が気づかない良い視点や良い発想が、村外から人が集うことで生まれてくるんじゃないかなと考えております。新しい知恵を、色んな人を交えて議論を

人事

して発信をしていくという努力をさせていたいただきたいと思っております。

◆西栗倉村固定資産評価委員会委員

住所 西栗倉村影石224番地
氏名 福井勝己

生年月日 昭和25年9月24日生
任期 平成21年4月1日～

平成24年3月31日

◆西栗倉村監査委員

住所 西栗倉村影石866番地
氏名 政久廣幸

生年月日 昭和21年6月11日生
任期 平成21年4月1日～

平成25年3月31日

◆西栗倉村教育委員会委員

住所 西栗倉村影石1448番地1
氏名 新田茂

生年月日 昭和24年2月19日生
任期 平成21年4月1日～

平成25年3月31日

住所 西栗倉村影石410番地

氏名 萩原直也

生年月日 昭和29年8月16日生
任期 平成21年4月1日～

平成25年3月31日

条例

◆西栗倉村介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定

平成21年4月以降の、介護報酬の増加よって生じる介護保険料の上昇を軽減するための国庫補助金を基金に積み立てる。

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

職員の勤務時間を8時間から7時間45分に短縮する。

西栗倉村税条例の一部改正

全納報奨金を廃止する。

西栗倉村ひとり親家庭等医療費給付に関する条例の一部改正

保険者の一つである「政府」が「全国保健協会」にかわる。

西栗倉村心身障害者医療費給付条例の一部改正

保険者の一つである「政府」が

国保協会」にかわる。

◆西粟倉村健康保険診療所条例の一部改正

営業項目の「訪問看護ステーション」を「訪問看護ステーション」とする。

◆西粟倉村議会議員の報酬の特例に関する条例の一部改正

議員発議により議員報酬の期末手当を1/2に減じる。

◆西粟倉村介護保険条例の一部改正
介護報酬の改定（改正後）

第1号	24,000円
第2号	24,000円
第3号	36,000円
第4号	42,000円
第5号	60,000円
第6号	72,000円

◆西粟倉村スポーツ振興基金の設置、管理及び処分に関する条例の廃止

基金による振興助成金の支出を止め、一般予算で対応する。

第24回あわくら・武蔵路健康マラソン全国大会

3月29日、「第24回あわくら・武蔵路健康マラソン全国大会」が、美作市と西粟倉村で開催されました。

今年は大会直前に雪が降り、冬に戻ったかのような寒さで天候が心配されましたが、当日はマラソン日和の晴れ空のもと、黄金泉から美作市大原総合支所までの10km「いで湯の里コース」には226名の選手が参加しました。

沿道からは、地元の皆さんからの声援があり、選手たちも声援に応え春のあわくら路を駆け抜けました。

寒い中応援に出てくださいました皆様、競技役員・警備の皆様、お世話になりました。



知ってました？ ～今年マラソンの100年～

日本で初めてのマラソン大会は、明治42年（1909）3月21日に大阪～神戸間20マイル（約32km）で開催された大阪毎日新聞社主催の「マラソン大競争」といわれています。

この大会で優勝したのは、西粟倉村出身（坂根）の金子長之助さんという人でした。金子さんの生家には、日本初のマラソン大会優勝の栄光を称える記念碑が建てられています。